

令和3年度 公立小松大学入学者選抜試験
学校推薦型選抜（一般推薦）試験問題

課題作文

【国際文化交流学部】

国際文化交流学科

（注意事項）

- 1 問題用紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙は本文1ページです。答案用紙は1枚です。
- 3 答案用紙の所定欄に受験番号を記入しなさい。
- 4 答えはすべて答案用紙の指定のところに、縦書きで記入しなさい。
- 5 アルファベット文字や数字は、1マスに1字で記入しなさい。
- 6 試験終了後、問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

次の文章を読み、下線部「祖父母の世代の母語が子孫に継承されないことの背景、原因」について述べながら、あなたが大学で英語や中国語を学ぶことの意義について 800 字以内で書きなさい。

「母語」という言葉がある。英語では mother tongue、中国語では日本語と同じく「母語」が使われる。「母語」の概念を厳密に定義するのは簡単ではないが、一般には、幼少期にお母さんなど最も身近な人から自然に習得した言語のことである。

大多数の日本人にとって、母語たる日本語は、まるで空気や水のように、そこにあるのが当たり前の存在であろう。ところが、水道の蛇口をひねって水が出てくるのが世界の常識ではないのと同様に、同一民族であればみんながその民族に固有な言語(民族語)を話すというのは世界の常識とは言えない。現在、多くの日本人の母語が日本語であるのは、歴史の所産であって、当たり前ではない。

中華人民共和国には満州民族と認定される人々が 1,000 万人近くいると言われている。しかし、彼らの母語は漢語、つまり中国語であって、現在、満州語を母語とする人は皆無と言っても過言ではない。満州民族は清朝(西暦 1636 年～1912 年)を建国した中国の統治民族であった。そのような民族の母語であった言語が王朝滅亡後、短期間で絶滅に瀕したのである。国や母語の消失体験がない日本人にとって、これは別世界の出来事と感ぜられるであろう。しかし、世界史をひもとけば、このような事例は中国だけでなく世界各地にあったことがわかる。

祖父母の世代の母語が子孫に継承されないことの背景、原因は一様ではない。しかし、事は「母語を大切にしましょう」という綺麗ごとではすまない。言語の最も重要な機能の一つは、伝達、コミュニケーションであって、それが達成されれば、日本人が日本語を話す必要はないとすら言えるからである。

(問題文は書き下ろし)